

Unified Communications の事例研究: グローバルボイスメールシステム構築のための移行戦略

グローバル全体をカバーするボイスメールシステムへ移行することでコストは削減され、管理負担は軽減されます。

| ビジネス上の利点 | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 通信機器費用や管理コストの削減 • エンドユーザへの音声、Eメール、ファックス通信の統合環境の提供 • グローバルスタンダードとグローバルで共通のプロセス • 強力な IP ベースのメッセージサービス <p>「移行の際、課題を事前に認識した上でプランニングしていれば、課題には適切に対処することができます」</p> <p>Bernadino Caro, Program Manager</p> | <p>シスコでは、2004 年夏までに投資対効果検討書を作成し、それまで利用していた Avaya 社の Octel ボイス メッセージング システムを Cisco Unity ボイス メッセージング ソリューションに移行させ、自社ネットワーク上で運用させようとしていました。ボイスメールの移行戦略は、「音声、ビデオ、データを IP テレフォニに集約した総合的な IP コミュニケーションソリューションを実現する」というシスコの長年の方針を反映するものでした。このプロジェクトは、過去に行ってきた Unity 導入プロジェクトの中では最大規模のもので、35,000 人以上の従業員を対象としていました。</p> <p>Octel のシステムは数多く、全世界に分散して設置されていました。そのため移行担当チームは、すべての Octel システムユーザを集約型データセンター内にある Cisco Unity システムに移行させるのは時間のかかる作業になると考えていました。「私たちには、Cisco Unity 利用者 と Octel 利用者との間でのメッセージのやり取りが損なわれないようにし、管理職はじめボイスメールを頻繁に利用する全ての従業員にできるだけ混乱を与えないようにする移行戦略が必要でした」と、Cisco Unity のプログラムマネージャ、ベルナディーノ=カーロ (Bernadino Caro) は言います。</p> |

「一気に」移行させるアプローチは実現不可能だったため、チームは、Cisco Unity Bridge を利用した、3 つのフェーズからなる移行戦略を採りました。

- フェーズ 1: EMEA と APAC 両シアターの大規模拠点の移行、および、サンノゼと RTP の両キャンパス(およそ 18,000 ユーザ)の一度の週末での同時移行
- フェーズ 2: アメリカ以外のすべての拠点の移行
- フェーズ 3: アメリカの残りの拠点の移行

シスコの従業員は全てのメッセージで利用時のアクセス先が統一されました。

Unity のプログラムチームは移行期間中を通して Cisco Unity のシステムやプロセスが設計通り動いているかどうかを何度も確認しました。また、シスコ IT は、設定が正しく行われているかどうかや、パッチが確実に導入されているかどうかをすぐに確認できるようにウェブベースの設定監視ツールを開発しました。

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、
Cisco IT @ Work をご覧ください
<http://www.cisco.com/jp> (シスコについて→Cisco IT@ Work)

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00